

特集 サマースクール 2015 in 信州レポート

～ 食を大切に思う大人に成長するために

8月19日から21日まで、小学生24名、中学生3名の合計27名の子どもたちと一緒に、夏の信州へ行ってきました。引率は、杉本久さん(群馬杉武館館長、愛称:すぎさん)、上田遥さん(京都大学大学院農学研究科1年、愛称:ハルカス、カルピス、ハリー)、Annie Teng(国立台湾大学卒、京都大学大学院農学研究科1年、愛称:アニー)、上田理恵子(マザーネット代表、愛称:うさぎさん)の4名です。



1日目: 関西と関東の子どもたちがすぐに打ち解けて

8:15 大阪組、新大阪バスターミナルに集合。今回関西から初めて参加するのは、かずみくん(小1)、ひかるくん(小2)、ゆうりちゃん(小3)、がくくん(中2)の4名です。

8:36 お母さんやお父さんたちに見送られて、アルペン伊那号が無事に出発。初めての4人も、すぐにみんなに打ち解けていきます。行きのバスでは、アニーの隣にゆうりちゃんが座りました。日本語がまだ十分に話せないアニーと、英語でコミュニケーションをしています。「うえださん、英語を習って、ほんとによかった」とゆうりちゃん。ハルカさんとアニーのコミュニケーションはすべて英語。この会話を聞くのも、勉強になっているようでした。

9:00 東京組、新宿駅西口バスターミナルに集合。今回初めて参加するのは、ひろむくん(小1)、あかりちゃん(小1)、こうたくん(小2)、しゅんすけくん(小2)、たろうくん(小3)、リリこちゃん(小4)の6名です。

9:30 新宿駅を高速バスが出発。



新宿発組、参加者が増えました!

10:35 多賀SAに到着。お昼ごはんは、好きなものを注文します(中学生600円、小学生500円)。買い物の時間は約10分と限られているので、迷っている時間はありません。初めて参加の子どもたちには、上級生がやさしくフォローします。

12:50 恵那峡SAに到着。いつもの場所で、みんなで記念撮影。

12:55 東京組、伊那市バスターミナルに到着。

14:10 大阪組、伊那市バスターミナルに到着。東京からすでに到着していたメンバーと、久しぶりの対面です。自然の家のバスの運転手さんが、いつもやさしく迎えてくれます。

15:10 信州高遠青少年自然の家に着。標高1218Mなので、とても涼しく感じます。新大阪から約6時間半、東京から約5時間半、よくがんばりました!今回のお部屋は、本館の2部屋です。

15:40 男子の部屋でオリエンテーション。自己紹介では、名前、住んでいるところ、学校名、学年、好きな学科または好きなことを発表しました。かずみくんは休み時間、ひろむくんはサッカー、あかりちゃんは体育、こうたくんとゆうじくんとしゅんすけくんとかずまくんは野球、ひかるくんは鬼ごっこ、たろうくんは算数、ゆうりちゃんは卓球とのことでした!

16:30 プレイホールを貸し切って、バドミントン、卓球などで遊びます。

17:00 タベのつどいへ参加。希望者が旗を降ろします。そしてハルカさんがマザーネットの団体紹介をしてくれました。「うえださん、あんな紹介でいいの?」と、子ども達からクレームが...!?

17:10 再び、体育館へ。

18:00 夕食はバイキング。体調に合わせて選べるので、安心です。

18:40 入浴。マザーネットだけの貸切なので、水泳大会となりました。アニーに女子たちが「お風呂行こう!」と誘うと、アニーはびっくりした様子。台湾にも温泉はありますが、服を身に付けて入るとのこと。子ども達が、お風呂への入り方をアニーに教えてあげていました。みんなで湯船につかるのは、初めてのとのこと。「他の国も、みんなでお風呂に入ると思った」と、子ども達はびっくりしていました。これも文化の違いを知る貴重な体験ですね。

19:10 お風呂の後は、「勉強のやる気スイッチON!」。みんなたくさん、学校や塾の宿題を持ってきています。集中タイムです。

21:00 低学年の子ども達は就寝時間です。高学年のお友だちは、勉強の続きをしたり、すぎさんによる漢字テストをしたり、おしゃべりしたりしました。



小さいお友達の勉強はお姉ちゃんたちがサポート



ひつじさんたち、かわいい!!



2日目： 味覚の学校で、五感を磨く！

6:00 自然の家の朝のチャイムで起きる子ども。

7:00 小雨のため、朝のつどいが中止に。まだ眠い子どもは、2度寝をしていました。

8:00 朝食はバイキングです。

9:30 少し雨が降っているため、カッパと長靴に履き替え、自然の家を出発。溪流釣りへと向かいます。

9:45 指導員の守屋さんに、竿の扱い方を教わります。竿が長いので、小さい子ども達が扱うのは大変ですが、一人一竿を渡し、がんばってもらいます。餌はイクラを2〜3粒つけます。何だか減りが早いと思ったら、ひろむくんが「おいしい!」と食べてしまっていました!

「今日は天気が悪いから、絶対に釣れない」と守屋さん。しかし、「釣れたー!」との声。ちかこちゃんがアマゴを、そしてアニーがハヤをGET!!釣れたのをみて、さらに気合いが入ります。

11:30 溪流釣りが終了。

12:00 ランチはバイキングです。

13:30 ハルカ先生による「味覚の学校」が開講です。まず子ども達に質問。「ものを食べる時、どこを使う?」と。口、歯、手、のど、胃、腸、食道などいろんな意見が出ました。ハルカ先生からは、口、鼻、目、耳、皮膚(口の中)を使って食べ、味わうために一番大事な器官は、口、舌であるという説明がありました。そして舌を磨くための実験をしてみようということになりました。その前に、味には「しょっぱい」、「すっぱい」、「あまい」、「うまい」、「にがい」という5つの味があることが紹介されました。

一つ目の実験は、砂糖、塩、グルタミン酸、クエン酸の粉末とビターチョコをお皿に入れて配り、それぞれをなめて「酸味はクエン酸」というように、どれがどの味か認識させるというものです。その後、それらの味を溶かした薄い水溶液で味覚のテストをしました。「うまみ」という概念を知らなかった子が多く、塩味と区別するのがとても難しかったようです。甘味や塩味以外の味を認識することで、糖分や塩分への傾斜を減らし、健康な食生活につなげてほしいという思いも込めて、実験を行いました。

二つ目の実験は、ヨーグルトに青と赤の食紅を混ぜ、味の違いを当ててもらうものです。青を混ぜたものは、「すっぱい」、「うすい」、赤を混ぜたものは、「しょっぱい」、「にがい」という答えでした。もちろん食紅を入れても味は変わりませんが、目でみた印象で左右されるということを実感してもらいました。



三つ目の実験は、匂いのトレーニングです。「オレンジ」、「レモン」、「ジンジャー」のエッセンシャルオイルを脱脂綿に染み込ませたものを嗅いでもらいました。「オレンジ」は、「ゆず」、「すだち」という回答が、「ジンジャー」は、「かび」、「よもぎ」、「シナモン」という回答がありました。なかなか普段は、鼻に意識を集中することがないため、いい体験になったのではないのでしょうか。



最後の実験は、ある果物や野菜を袋の中に入れて、中を見ずに子どもに触って、表現してもらい、それが何かをみんなで当てるといったものです。一つ目はかずみくん(小1)が挑戦。「丸い」、「つるつる」、「大きさは手と同じ」、これは「リンゴ」でした。二つ目はひかるくん(小2)が挑戦。「長い」、「ちょっとだけヌメヌメ」、「重さは軽い」、「ボコボコのところがある」、これは「バナナ」でした。三つ目はがくくん(中2)が挑戦。「ちっちゃい」、「バイキングに出てきた」、「中が空洞」、これは「ピーマン」でした。最後はゆうなちゃん(小2)が挑戦。「丸くて長い」、「軽い」、「とげとげしてる」、これは「キウイ」でした。今



回の実験を通じて、しっかり一つ一つ味わう意識をつけることで、食を大切に思う、立派な大人に成長してほしいと思っています。

16:00 希望者は体育館遊びです。

18:00 夕食はバイキング。

18:40 入浴。アニーは少し慣れたかな?子ども達が、足湯を作ってあげたり、マッサージをしてあげたり、リラックスさせてあげていました。日本語を話すときもやさしく手振り付きで話したり、逆に英語を教えてもらったり、コミュニケーションすることが、とても楽しいようでした。アニーとの交流はとても良い機会になったと思います。

19:30 学習室で終わりの会。スクールで楽しかったこと、つらかったことを発表してもらいます。

楽しかったことは、「お風呂で遊んだこと」、「こわい話をしたこと」、「お化け屋敷」、「アニーとおしゃべりしたこと」、「よふかし」、「味覚の学校」、「枕投げ」、「数読」などでした。つらかったことは、「お金があと10円しかないこと」、「魚が釣れなかったこと」、「お風呂の戦争」、「バドミントンで負けたこと」などでした。発表を聞きながら、みんなで振り返り、笑いあっていました。その後は、すぎさんのマジック。どうだったかな?最後はビンゴゲーム。スクールで一番みんなが真剣になるところです。

22:00 就寝。最後の夜は、夜更かしも少しだけOKしました。夜に女子の部屋でマジカルバナナのゲームをしていましたが、「甘いのは砂糖」や「しょっぱいのは塩」など、味覚の学校の影響が表れているようでした。



バスの中で寝てしまったあーちゃんを抱っこして



3日目：いのちを丸ごと一ついただく体験をして

- 6:30 起床。誰も起きません・・・。
 7:00 朝のつどいに参加。外国人のお友達も多く、ラジオ体操は英語バージョンです。
 7:20 朝食。
 8:00 部屋の清掃。みんなで手分けをして、部屋の中を片づけます。
 9:00 退所点検。布団をたたむ向きなど、細かくチェックがあります。
 9:30 自然の家を出発し、バスで約45分、高遠の山奥、廃村になったところへ向かいます。出迎えてくれたのは、鹿アーティストの杉山さん(現地在住)と、パートナーのまきさん(東京在住)。そして、犬のきゅうちゃんです。杉山さんは普段は一人でここで暮らしているとのこと、動物の鳴き声しかしない、本当に静かなところですよ。



今日のプログラムは、わなでしかけて捕まえた鹿を解体し、食べるというものです。臓器と血は捕まえた時に取り除いてあるので、今日は皮をはいて、部位ごとに切り落とすところを見学します。昨日までは、「鹿さん、かわいそう」、「気持ち悪いから、絶対無理!」と言っていた子ども達ですが、解体がはじまると、真剣なまなざしで見つめています。おやつをバスの中に置いてきたので、お腹が空いてきたよう



で、途中から「早く、鹿を食べようよ!」との声が聞こえてきました。人間の本能なのでしょう。そして、ほとんどのメンバーが鹿を食べ、「おいしい!」、「トロみたい!」、「ママにも持って帰りたい!」と、味を絶賛。脂身が少なく、しょうゆを少しつけて食べると、まるで鯉のタタキのような上品な味でした。「杉山さんは、どこからお給料もらってるの?」と子ども達から質問が。鹿を退治すると、国から補助金がいただけるようです。何匹、退治したかは、しっぽを提出することで申請が通るようです。しかし、犬のきゅ



うちゃんがしっぽを食べてしまうことがあるようですが・・・いのちを丸ごと一ついただく、という貴重な体験をさせていただきました。

14:15 杉山さんたちに別れを告げ、出発。

15:00 アップルランド伊那インター店で、夕食のお買いものゲーム。予算内で好きなものを選びます。真剣に頭を使うので、算数の勉強にもなります。小さい子には、お兄ちゃんやお姉ちゃんがやさしく教えてくれます。ごはんかパンなど主食を買えば、お菓子も選んでOKにしています。

16:00 伊那市バスターミナルに到着。

16:15 大阪行きのバスが時間通りに出発。疲れて眠るかな、と思ったら、お話するのが楽しくて仕方がないようで、運転手さんに2度怒られました。「遊び半分、バスのトイレに行かないで

ください」と怒られたのには、私が反論。子ども達の名誉にかけて「そんなことはしません!」と言うと、「さっきはすみませんでした」とあやまってもらいました。

16:25 新宿行きのバスが出発。

19:45 新宿西口バスターミナルに到着。

22:00 新大阪バスターミナルに到着。「鹿の肉は、今日中に食べてください!」とお伝えしました。お味の方はどうだったでしょうか。



今回の鹿を解体するプログラム、半数以上の子どもは見学出来ないのでは、と思っていたのですが、全員が真剣なまなざしで見つめていました。子どもたちは自然の中で、本能全開!いろいろなことへの感性が磨かれたと思います。これからも様々なプログラムを企画して参ります! (上田 理恵子)

次回の予定

2015年12月25日(金)~12月28日(月)の3泊4日で、ウインタースクールin信州2015を開催予定です。スキー&スノーボーは、初めてのお子様でも大丈夫です!ご予約受け付けております。

